

医師・看護師・介護職員の大幅増員を 日本医労連増員闘争ニュース

第 108 号
2010 年 12 月 20 日
日本医労連
増員・夜勤改善闘争本部
TEL: 03-3875-5871

自治体意見書、続々。41へ！

「大幅増員・夜勤改善」自治体意見書					
北海道	知内町	江差町	余市市	古平町	積丹町
	蘭越町	赤井川村	歌志内町	新十津川町	沼田町
	旭川市	士別市	東神楽町	上川町	上富良野町
	訓子府町	置戸町	遠軽町	美幌町	大空町
	津別町	小清水町	伊達市	釧路町	釧路市
	白糠町	鶴居村			
神奈川	三浦市	秦野市			
長野	中野市	諏訪市	木祖村	栄村	小布施町
	王滝村	麻績村			
富山	富山県	滑川市			
広島	海田町	江田島市			
熊本	水俣市				

連日、自治体決議の報告を頂いています。北海道では27になり、全国で41自治体になりました。「地域医療と国立病院充実」「道立衛生学院存続」も合わせて意見書採択を進めている北海道。趣旨説明を要請されて夜勤明けで参加した勤医労札幌病院支部の畠山歩美執行委員は現場実態を報告、「医療現場のことを考えてくれた発言もあり、採択につながって良かった」と話しました。

秋のキャラバンでの取り組みが、今どんどん成果につながっています。次の議会に向けた取り組みも進んでいます。

厚生労働省は、看護師等の労働環境改善に向けた施策を検討する省内プロジェクトチームを年内に発足する方針を固めました。勤務環境や雇用管理の改善を図る取り組みについて論議される予定です。運動を前に進めるチャンスです！！



うれしい電話
ありました！

第7次需給見通しまもなく

「第7次看護職員需給見通し」報告書がまもなく出される見込みです。最後になる8回目の検討会でも委員から意見が多数出され、座長責任で取りまとめることになりました。しかし数は変わらず、私たちの要求とかけ離れたものになっています。計画でも初年度から5万6千人の不足！見直し要求と、各県での交渉が重要です。

石川県医労連は民医連と共同で、11月9日、11年度予算策定にあたっての「医師・看護・介護職員確保」で県要請を行いました。「看護学生の奨学金を県単独で月10万に増額、自治体病院のある自治体を対象とした」「卒後研修義務化に伴い県内31病院を指定し、研修責任者の研修会予定」「2年制通信課程が募集枠の半分を割り、北陸3県に呼びかけ確保の援助を県も行いたい」「准看コースは不景気もあり入学者が増えている」等の回答を得ています。

各県での政策改善を迫りましょう。

「私も署名手伝いたいです！！」

18日(土)の愛知県医労連の宣伝行動で署名してくれた方から医労連に電話がありました。4月から看護学校に行かれる27歳女性です。「本当に大変な状況ですね、私にできることがあれば手伝いたいと思って」と。早速、署名用紙お送りしました。みんな頑張っていますね。

全医労愛知地区協議会では「1人100筆」達成者が、12月15日現在で16人！皆さんあらゆる繋がりを活かして今も増やしています。ご両親、ご主人、子供たちの勤務先・友人や保育園のママ友、看護学校の同級生、空手の先生 etc、etc。トップは豊橋の沼野Nsで620筆、「入院して安心して診てもらいたいという声が多かったです」と。お正月、田舎に帰ると言う方、よろしく願います！そして、まず職場から集めましょう。絵に描いた餅ではなく、「勤務間隔が12時間空くっていいよね、そのためには休みを増やさなくっちゃ！」と。

増員闘争ニュース107号【訂正とお詫び】

国共病組東海の署名率の数字が切れて0%になっていましたが、340%のダントツトップです。訂正し、お詫び致します。